

泊村老人ホームむつみ荘広報

# アシルとまり

アシルとはアイヌ語で新しいという意味です。

〒045-0202  
古宇郡泊村大字茅沼村711番地3  
社会福祉法人 黒松内つくし園  
泊村老人ホーム むつみ荘  
TEL (0135) 65-2255  
発行責任者 施設長 高橋 英俊  
編集発行 むつみ荘広報委員会

## ユニットでお寿司を満喫

10月13日、恒例となったお寿司の出張サービスが委託会社 L E O C 様にご協力いただき行われました。寿司職人が利用者の目の前で生寿司を握るように、各ユニットに特設カウンターを設置し、お店で食事をしているような雰囲気を演出しました。ネタは、マグロ、イカ、サーモン、ヒラメなど、生寿司の他にも玉子巻きや一口サイズのいなり寿司、飲み込みの難しい利用者にはムースのお寿司が提供されました。この日を楽しみにしていた利用者は好みのネタを次々に注文し、お寿司をおいしそうに食べられていました。

また、養護ではお酒やノンアルコールビール

なども用意され、利用者は「おいしいお寿司をつまみながら飲むお酒は美味しいね」や、「握りたてのお寿司は本当に美味しい」「今年の職人さんは去年とは違うんではないかい?」など和気あいあいとした雰囲気の中、笑顔で食事を楽しまっていました。



利用者 ← 次のネタを心待ちにする



→ ← 職人による実演を真剣な表情で見守る利用者



## ★お知らせ★

ご不便をおかけいたしますが、引き続きご理解とご協力をお願い致します。



## 秋の味覚を味わう ～職員の手作りケーキ～

今年の夏は暑い日が続きましたが、9月に入ってからは徐々に肌寒い日も増えて上着を1枚羽織るようになりました。山を見ると木々がだんだんと色づきはじめ、標高の高い山では初冠雪もありました。特養なごやかユニットでは少しでも秋を感じ



ケーキに夢中

てもらおうと、お茶会を開催し、秋の味覚の一つ、栗を使ってお菓子作りの得意な職員が『モンブラン』を作り利用者に食べていただきました。利用者から「すごいね～！おいしい！」や「また作ってほしい」との声が聞かれ、大成功に終わりました。



売り物のような出来の手作りケーキ

## 人事のお知らせ

開設時より、むつみ荘の栄養管理をしていました、大島管理栄養士が10月で退職されました。10月より秋山管理栄養士が採用されましたので採用・退職のご挨拶を掲載いたします。



左：大島管理栄養士、右：秋山管理栄養士

### Q1.自己紹介をお願いします。

秋山：大島管理栄養士の後任の秋山幹仁と申します。利用者様の食環境、栄養を全力

でサポートさせていただきますので宜しくお願ひいたします。

### Q2.むつみ荘の印象は？

秋山：初めてむつみ荘を訪問したときは、とても家庭的な雰囲気だという印象を受けました。また一人ひとりの生活空間が確保されていることに感心した記憶があります。我々職員はそういった利用者様の生活を守っていく使命があると考えています。

### Q3.これからやってみたいことは？

秋山：まずは大島管理栄養士のような、堅実な仕事ができるように努めていきたいと考えています。また、普段の食事やイベントを通じて、利用者様の生活を少しでも彩れるようにがんばっていきたいです。

### Q4.楽しみなことはありますか？

秋山：空知の小さな田舎町出身なので、海がある町にはすごく憧れがありました。今は通勤時に海景色を見るのが毎日の楽しみになっています。これから自然豊かな泊村の四季を感じられるのが楽しみです。

## 心も体もあったまる 南瓜粥作り



きらりユニットでは、頂いた南瓜を使用し、利用者のかな南瓜粥を作りました。皆さん大変喜ばれており、「美味しいね～、やっぱりこうやってみんなで作って食べるのもいいし、お粥もたまにはいいね。とても美味しかったよ。」「また南瓜で作って食べたいね。」「今度は違うものも作って食べてみたいね。」などとても好評でした。ユニットではこれからも、色々な調理を利用者と職員一緒に

作り、楽しんで体を動かしたり、ゆっくりと一緒に食事をする機会を増やしていくべきだと思っています。



### Q5.最後に一言お願いします！

秋山：食べることは生活の柱であり、生きることそのものだと私は思っています。みなさんの生活を少しでも明るくできる存在になれれば幸いです。

### Q6.8年間の在籍期間で一番印象に残っていることは？

大島：利用者さんと一緒に山菜採りや魚釣

りに行ったり、料理を教えて貰いながら作ったりしたことが印象に残っています。

### Q7.最後に一言お願いします！

大島：むつみ荘でしかできない経験をたくさんさせていただきました。この経験を次の職場でも生かしていきたいと思います。

8年間ありがとうございました。



## 施設長雑感

「実りの秋」の真っただ中、農作物の収穫期を迎える、様々な旬の味覚に舌鼓を打つことができる季節となりました。本施設におきましても、先月10月は、ジャガイモ、ニンジンやカボチャなど、コロナ禍中にも関わらず、ご家族の皆様等から数多くの寄贈があり、利用者様はもとより、職員も食することができました。改めまして深く感謝申し上げます。

しかしながら一方では、海産物の代表的な秋の味覚であります、サンマが史上空前の不漁に陥るなど、地球環境の顕著な変化を再認識させられることも多々感じることろであります。

さて、本施設おきましては、先月13日「お寿司の日」を開催しました。また、今月は「食のイベント」の第2弾であります「手打ち蕎麦の日」の開催も予定しております。これも今が旬の「新蕎麦」を堪能できるものと心待ちにしているしだいです。本施設おきましては、利用者様が北海道の豊かな四季を感じ取れることが出来ますよう今後とも「食を通じたイ

ベント」を開催していくこととしております。

先日、道内で初冠雪がありました。泊村におきましても、朝夕の冷え込みが日々増してきており、いよいよ冬の到来が予感されます。このような中、本施設におきましては、例年、感染症対策の一環として実施しております「インフルエンザ予防接種」を行うこととしております。季節柄、「インフルエンザ」はもとより「ノロウイルス感染症」もまた発生し易い時期でもあり、さらには「コロナウイルス感染症」の蔓延が終息していないことから、今後とも、利用者様及び職員の感染症予防対策に一層努めることとしております。利用者様並びにご家族の皆様、関係機関の方々には、何かとご不自由をおかけするものと存じますが、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

泊村老人ホームむつみ荘  
施設長 高橋 英俊

